

## 放送大学東京文京学習センターの除名処分と

### 放送大学の単位取得対象科目の開講中止

知の市場は、2012年12月の知の市場協議会及び評価委員会の議を経て、2013年度に放送大学東京文京学習センターで知の市場の共催講座を開講し始めた。以降今年2019年度まで、同様の手続きを踏み関係者の合意のもと、多くの講師陣や連携機関の協力と尽力により毎年度、前期・後期に開講を継続してきた。その結果、2013年度から2018年度までの6年間に29科目が東京文京学習センターで開講され、237名が受講し190名が修了した。

これは、東京文京学習センターが使用していない教室を有効活用して知の市場の開講のために必要な教室を提供する一方、それ以外の開講機関としての全ての役割を東京知の市場などの他の機関が担うという合意と協力の成果である。2019年度の開講に関しても、このこれまでの通例に沿って、2018年12月の協議会及び評価委員会の議を経て2019年度開講計画が決定されたのち、例年通り社会に広く公表され受講者の応募申込みの受付が行われた。

しかるに、2019年7月末に至り突如、例年通りに知の市場の開講のために東京文京学習センターの教室を提供することはできない旨のこれまでの合意・協力や通例に反する意向が東京文京学習センターから示された。その後、東京文京学習センターの指示に従って、再度、教室提供を要請したにも拘わらず、東京文京学習センターは教室の提供につき明言を避け続けた。こうして悪戯に開講までの限られた貴重な時間を浪費したうえ、度重なる督促に対して東京文京学習センターが自ら約束した回答期限を過ぎても何の連絡も無かった。さらに、開講日が直近に迫る中、即時回答を要請する最終的な督促に対しても日を経ても回答が無かった。

そうした経過に鑑み、東京文京学習センターとの信頼関係は既に失われており例年通り東京文京学習センターから知の市場の開講のために必要な教室の提供を受けることは期待できないと判断せざるを得ないことから、全ての準備が完了していたにも拘わらず東京文京学習センターでの開講は、急遽、中止とせざるを得ないこととなった。その結果、受講者や講師陣などに多大なる不都合と混乱をもたらし、受講者の自己研鑽の機会を奪うとともに、それまで諸々の開講準備を進めてきた講師陣や連携機関などの多くの関係者や知の市場事務局の多大なる努力は無に帰し、加えて本来不必要な多くの負担をこれらの関係者に強いることになった。

こうした状況を踏まえると、東京文京学習センターとの信頼関係は既に失われていると言わざるを得ないのみならず、東京文京学習センターがこうした社会的な責務を果たすための十分な能力と意思を持ち合わせていないのではないかと危惧されことから、このまま東京文京学習センターとの関係を持続することは長年にわたり多くの人々の尽力により培われてきた知の市場の社会的な信頼と評価を著しく棄損し悪影響をもたらすことが懸念される。よって、もはやこのまま看過することは許されず、ここに放送大学東京文京学習センターを除名処分とし、時をおかず、順次、執行することとする。

また、知の市場の理念と基本方針に沿って行われる実社会に根ざした自己研鑽の機会の提供が放送大学の学生・院生にも有益であるとの共通認識を踏まえて、放送大学が知の市場の講師を放送大学の非常勤講師として正式に任命して知の市場の科目を基にした科目を放送大学の学生の単位取得対象科目として開講することを支援し、2015年度後期から2019年度前期までの4年間に15科目を開講することに協力してきた。しかし、東京文京学習センターとの信頼関係が失われた現状では、もはやこれまで通りに東京文京学習センターに対する支援・協力関係を継続することは困難といわざるを得ない。

加えて、2019年度になって東京文京学習センターから成績評価に関して新たな文書が提示されたが、その中には放送大学全体の方針や他の学習センターの方針とは異なる東京文京学習センターのみに適用する方針である旨の記述が散見され、かつ、成績評価に関する指針の運用について学生には具体的に説明しないことを求める趣旨の記述などがあった。しかし、その内容は厳格な成績評価と十分な情報の提供・公開を旨とする知の市場の理念や方針と相いれないものである。この点から見てももはや東京文京学習センターに対する支援・協力関係をこれまでと同様に維持・継続することは困難といわざるを得ない。

こうした状況を踏まえて、知の市場の講師が放送大学の非常勤講師として正式に任命を受け知の市場の科目を基にした科目を学生の単位取得対象科目として放送大学で開講し放送大学の学生に講義することを中止することとする。

なお、放送大学から正式に任命を受けた非常勤講師としての講義の実施以外についても、知の市場の理念に則り、放送大学の学生・院生の課外活動に協力するのみならず、英国留学を目指す学生のロンドン大学への推薦などの諸々の支援をこれまで行ってきた。東京文京学習センターとの信頼関係が失われ諸々の関係が断たれたとしても、こうした積み重ねの中で培われた放送大学の学生・院生との個人的な相互の信頼関係は何ら影響受けるものではなく、今後とも引き続き協力関係を維持発展させながら諸々の活動を継続・充実されていく。